

医学研究実施のお知らせ

本学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】 退院支援困難な高齢患者とその家族の意思決定過程における思いのゆれ

【研究の概要】

●研究の目的：急性期病院における退院支援困難な高齢患者とその家族の意思決定過程の思いのゆれについて、その実態と影響因子について明らかにします。このことにより退院支援過程におけるコミュニケーションを改善するなど、質の高い医療サービスの提供につなげることができます。

●研究期間 倫理委員会承認日～2023年10月31日までで、研究を実施します。

●対象となる方等

研究機関：□附属病院 □葛飾医療センター 第三病院 □柏病院

対象となる方：2023年4月から6月に退院した患者のうち、退院に関する「思いがゆれ動いて」退院調整や手続きが容易でなかった患者5名の診療記録を対象とします。

●研究に利用する情報等 情報：医療専門職が記載する診療記録(電子カルテ)

【属性】年齢、性別、入院目的、在院日数等

【入院経過】身体に関する事象の発生について

【ADL(日常生活動作)】寝返りや起き上がり、座位、移乗、歩行、移動手段、更衣、入浴等の実施状況について

【IADL(手段的日常生活動作)】調理や掃除・洗濯、買い物、ゴミ出し、火気・金銭・内服管理、電話利用、交通機関利用等について

【食事】食事行動、栄養経路、口腔ケアについて

【排泄】排泄行動、失禁、排泄方法等について

【せん妄リスク】せん妄リスク因子、せん妄対策

【褥瘡危険因子】基本的動作能力、病的骨突出、関節拘縮、栄養状態低下、皮膚湿潤、皮膚の脆弱性

【疾患・治療】病気の症状やそれに対する治療について

【コミュニケーション】視力や聴力の機能、言語、意思疎通の状況について

【認知と行動】精神疾患の有無、それに対する治療について、物忘れ、意思決定能力

【社会的状況】社会的役割、在宅環境や経済的問題、入院前の生活形態について

【介護サービス】家族構成や介護に関わる人物、介護保険、保険利用状況・意志等について

【介入】インフォームドコンセントの内容や関係職種、入院時の医療処置・ケア、多職種合同カンファレンス、退院調整必須項目、退院準備等について

【退院に関する認識】病気・病状への理解、意思決定支援状況、退院後の医療処置や希望等について

【退院支援における課題】退院後の医療処置や療養先の検討の必要性の有無等

●他の機関（検査会社等含む）へ試料や情報等を提供する方法

本研究には該当いたしません。

【問い合わせ先（対応時間：平日 09：00～17：30）】

研究代表者：東京慈恵会医科大学 看護学科 4年生 端山 康太（はやま こうた）

研究責任者(指導者)：永野 みどり（ながの みどり）電話：03-3480-1151（内線：2820）

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。

研究成果を学内の卒業研究発表会および学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。